

高岡クラフト・旅のおもてなし事業補助金交付事業実施要領

(趣旨)

第1条 この実施要領は、本市観光の魅力向上、誘客促進及び伝統産業の支援を行うため、本市の伝統産業の魅力及び技術に触れることができるテーブルウェア又は室内装飾品を購入又は修理する飲食店又は宿泊施設に対し、高岡クラフト・旅のおもてなし事業補助金を交付することについて、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この実施要領において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 飲食店 富山県及び石川県の全域並びに岐阜県飛騨地方（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）に住所があり営業している飲食店で、次の要件をすべて満たすもの。
 - ア 食品衛生法（昭和22年法律第233号）第55条の許可を受けていること
 - イ 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号。以下「風営法」という。）第2条第4項（接待飲食店営業）及び第2条第11項（特定遊興飲食店営業）の許可を得て営業する施設を除く。
- (2) 宿泊施設 富山県及び石川県の全域並びに岐阜県飛騨地方（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）に住所があり営業している宿泊施設で、次の要件をすべて満たすもの。
 - ア 旅館業法（昭和23年法律第138号）に定める必要な営業許可を受けていること
 - イ 前号アに掲げる食品衛生法の許可を受けて飲食を提供し営業していること
 - ウ 風営法第2条第6項第4号に規定される施設（店舗型性風俗特殊営業）ではないこと。

(補助対象経費)

第3条 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、次の各号のいずれかに該当する経費とする。

- (1) 飲食店又は宿泊施設が別表1に規定するテーブルウェア又は室内装飾品であって、別表2に規定する基準をすべて満たすものの購入に要した経費
 - (2) 飲食店又は宿泊施設が別表1に規定するテーブルウェア又は室内装飾品であって、別表3に規定する基準を満たすものを高岡市内の事業所で修理を行った際に要した経費
- 2 この実施要領に規定する補助金以外の他の補助金の交付を受けてテーブルウェア又は室内装飾品を購入又は修理する場合は、この実施要領に基づく補助金は交付しないものとする。

(補助金の額等)

第4条 補助率及び補助金の限度額は、次のとおりとし、補助金の額に千円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。

- (1) 補助率 2分の1以内
- (2) 補助金の限度額 飲食店： 200千円
宿泊施設：1,000千円

(補助金の交付申請)

第5条 補助金の交付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、テーブルウェア

又は室内装飾品を購入又は修理する前に、受託者に高岡クラフト・旅のおもてなし事業補助金交付申請書（様式第1号。以下「申請書」という。）を提出するものとする。

2 前項の申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

- (1) 購入（修理）計画書（様式第2号）
- (2) 振込口座の情報が確認できる書類（通帳を開いた1、2ページの写し等）
- (3) 飲食店の営業許可を証明する書類（食品衛生法営業許可の証の写し）
- (4) 購入する商品の見積書の写し（修理の場合は、修理の見積書）
- (5) 商品の写真又はパンフレット（修理の場合は、修理前の写真）
- (6) その他委託者が必要と認める書類

3 前項第3号の書類は申請時において、許可を受けていない場合、実績報告に添えて提出できることとする。

4 補助金の申請期限は、令和5年12月28日までとする。

（補助金の交付決定）

第6条 受託者は、前条の申請があったときは、その内容を審査し、補助金を交付すべきものと認めたときは、予算の範囲内において補助金の交付決定をするものとする。

2 補助金の交付は、原則として1つの店舗・施設につき1回限りとする。

（決定の通知）

第7条 受託者は、前条の規定により補助金の交付を決定したときは、交付決定通知書（様式第3号）により、申請者に通知するものとする。

2 受託者は、前条の審査により、補助金の交付が適当でないと認めるときは、補助金を交付しない旨を申請者に通知するものとする。

（補助対象事業の変更等）

第8条 補助金の交付決定通知を受けた者（以下「補助事業者」という。）は、補助金の交付の決定を受けた後において、補助対象事業の内容若しくは予算の変更又は補助対象事業の中止若しくは廃止をしようとするときは、補助事業等変更（中止・廃止）承認申請書（様式第4号）を受託者に提出して、その承認を受けなければならない。ただし、受託者が当該変更を軽微な変更と認めるときは、この限りでない。

（実績報告）

第9条 補助事業者は、補助事業完了後30日以内又は令和6年2月28日のいずれか早い日までに、高岡クラフト・旅のおもてなし事業補助金実績報告書（様式第5号）に次に掲げる書類を添えて、受託者に提出しなければならない。

- (1) 購入（修理）報告書（様式第6号）
- (2) 経費の内容及び支払いを証する書類（請求書及び領収書等）の写し
- (3) 事業実施の成果物の写真（修理後や実際に使用している写真等）
- (4) その他委託者が必要と認める書類

（補助金の額の確定）

第10条 受託者は、前条の実績報告書の提出を受けたときは、その内容を審査し、及び必要に応じて行う現地調査等により、補助対象事業が適切に実施されたと認めるときは、高岡クラフト・旅のおもてなし事業補助金確定通知書（様式第7号）により補助金の額を通知するものとする。

(補助金等の交付請求)

第11条 前条の規定による通知を受けた補助事業者は、補助金の交付を受けようとするときは、請求書を受託者に提出しなければならない。

(補助金の交付)

第12条 受託者は、前条の規定により請求書の提出を受けた場合において、これを審査し、適当であると認めるときは、当該請求書を受けた日から起算して30日以内に補助事業者に当該請求額を交付するものとする。

(交付決定の取消し等)

第13条 受託者は、規則第17条に基づき、補助対象事業に係る補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことができる。

2 前項の規定は、第10条の規定による補助金の確定があった後においても適用する。

(補助金の返還)

第14条 受託者は、前条の規定により補助金の交付の決定を取り消した場合において、当該取消しに係る部分に関し、既に補助金が交付されているときは、補助事業者に対し期限を定めてその返還を命ずるものとする。

(書類の整備)

第15条 補助事業者は、補助事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿及び証拠書類を整備し、補助金の交付を受けた日の属する年度から5年間、保管しておかなければならない。

(補助事業者の努力義務)

第16条 補助事業者は、補助金の交付を受けたテーブルウェア又は室内装飾品を用いる際、それらの情報の提供に努めるものとする。

(報告、検査及び指示)

第17条 市長は、補助事業により購入したテーブルウェア又は室内装飾品の適切な利用の把握、補助事業の成果の検証等のため、必要があると認めたときは、補助事業者に対し質問をし、報告を求め、若しくは補助対象事業の施行上必要な指示をし、又は第15条の帳簿その他関係書類について検査することができる。

(補足)

第18条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

別表 1（第 3 条第 1 項関係）

補助対象品目	要件
テーブルウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・客に飲食を提供する際に食卓に用いる皿、酒器等の食器類であること。 ・使い捨て又は持ち帰りを前提としたものでないこと。
室内装飾品	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食スペース、宿泊施設のロビー、客室等で使用される装飾品であること。 ・使い捨て若しくは持ち帰りを前提としたものでないこと。

別表 2（第 3 条第 1 項関係）

基準	内容												
基準 1	伝統的工芸品「高岡銅器」「高岡漆器」「越中福岡の菅笠」に関わる素材、技術等が活かされた、工芸都市高岡の魅力発信に寄与する製品であること。												
基準 2	<ul style="list-style-type: none"> ・主として工芸素材以外のプラスチック（合成樹脂）等の化学製品を用いたものでないこと。 ・建築と一体となる建築材料でないこと。 ・店舗・宿泊施設等において不特定多数に使用されるもの。 												
基準 3	<p>次の各項目について、該当する項目の点数が 8 点以上であること。</p> <table> <tr> <th>項目・配点</th><th>基準等</th></tr> <tr> <td>(1) 工芸素材（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・天然素材を用いたもの（1 点） ・特に、金属全般、漆及びその代替品、菅を用いたもの（2 点） </td></tr> <tr> <td>(2) 工芸技術・技法（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・金工、漆工、菅細工で用いられる技術、技法を施したもの（1 点） ・うち、国の伝統的工芸品としての金工、漆工、菅細工の技術により作成されたもの（2 点） </td></tr> <tr> <td>(3) 製造地（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・製造過程の一部を市内で行ったもの（1 点） ・特に、全ての製造過程を市内で行ったもの（2 点） </td></tr> <tr> <td>(4) 企画開発地（2 点）</td><td>・市内で企画・開発されたもの（2 点）</td></tr> <tr> <td>(5) 対象商品の種類（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブルウェア（2 点） ・室内装飾品（1 点） </td></tr> </table>	項目・配点	基準等	(1) 工芸素材（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・天然素材を用いたもの（1 点） ・特に、金属全般、漆及びその代替品、菅を用いたもの（2 点） 	(2) 工芸技術・技法（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・金工、漆工、菅細工で用いられる技術、技法を施したもの（1 点） ・うち、国の伝統的工芸品としての金工、漆工、菅細工の技術により作成されたもの（2 点） 	(3) 製造地（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・製造過程の一部を市内で行ったもの（1 点） ・特に、全ての製造過程を市内で行ったもの（2 点） 	(4) 企画開発地（2 点）	・市内で企画・開発されたもの（2 点）	(5) 対象商品の種類（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルウェア（2 点） ・室内装飾品（1 点）
項目・配点	基準等												
(1) 工芸素材（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・天然素材を用いたもの（1 点） ・特に、金属全般、漆及びその代替品、菅を用いたもの（2 点） 												
(2) 工芸技術・技法（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・金工、漆工、菅細工で用いられる技術、技法を施したもの（1 点） ・うち、国の伝統的工芸品としての金工、漆工、菅細工の技術により作成されたもの（2 点） 												
(3) 製造地（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・製造過程の一部を市内で行ったもの（1 点） ・特に、全ての製造過程を市内で行ったもの（2 点） 												
(4) 企画開発地（2 点）	・市内で企画・開発されたもの（2 点）												
(5) 対象商品の種類（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルウェア（2 点） ・室内装飾品（1 点） 												

別表 3（第 3 条第 1 項関係）

基準	次の各項目について、該当する項目の点数が 3 点以上であること。	
	項目・配点	基準等
	(1) 工芸素材（ただし右欄に掲げる項目のうち 2 点を上限とする。）	<ul style="list-style-type: none"> ・天然素材を用いたもの（1 点） ・特に、金属全般、漆及びその代替品、

		菅を用いたもの（２点）
	(2) 工芸技術・技法 （ただし右欄に掲げる項目のうち２点を 上限とする。）	・金工、漆工、菅細工で用いられる技術、 技法を施したもの（１点） ・うち、国の伝統的工芸品としての金工、 漆工、菅細工の技術により作成された もの（２点）